

SEINAN CHANTEURS



2005



《創立51周年》
2005西南シャントゥール定期演奏会
SEINAN CHANTEURS ANNUAL CONCERT 2005

2005年12月11日(日) 午後2:00開演
アクロス福岡シンフォニーホール

主催/西南シャントゥール 共催/西南学院大学同窓会・西南学院グリークラブOB会
後援/福岡市・福岡市教育委員会・(財)福岡市文化芸術振興財団・福岡音楽団体連絡会・福岡県合唱連盟



「2004・創立50周年記念定期演奏会」より



西南シャントゥール
会長／鶴原 太郎

本日は私共の演奏会にお出で頂き、有り難う存知ます。昨年50周年を迎え、その記念演奏会も皆様方のご声援により、お陰様で好評の内に無事に演奏を終え、ことしは気持も新たに更なる飛躍を念じ、この一年練習を積んで参りました。そして、その成果の一端をと、先月「沖縄男声合唱団」のお招きにより、団員40数名で沖縄に参り、幸いにもご好評を頂き、新しいエネルギーを吸収し、今後益々交流を深めてまいりたいものと帰って来ました。

今晚は1ステージごとに色合いの違ったプログラムを組みました。お聞き頂き忌憚のないご批判を賜り、今後の進むべき参考に致します。

福岡の合唱は戦後暫くは全国にその名を轟かせたものでしたが、最近の状況を見ますと、いささか淋しいものを感じます。その中にあってシャントゥールは毅然として福岡の再興のため頑張っています。皆様の暖かいご声援により一層の発展を期し努力致します。

本日のご来場を重ねてお礼申しあげます。皆様の厳しいご批判をお待ち致しています。有り難うございました。



西南学院グリークラブ
OB会会長／後藤 照男

昨年、創立50周年記念演奏会を盛況裡に終えた我らの西南シャントゥールが、今年も60周年に向けて大きな一歩を歩き始めました。母体の西南学院グリークラブが低迷する中、誠に心強い限りであります。

今年の演奏会のステージも、単独のステージ構成で、そのバラエティに富んだプログラムは必ずやご来場の皆様に男声合唱の魅力を十分にお届けできる事と確信しております。

西南シャントゥールも、その所属する福岡県合唱連盟、福岡音楽団体連絡会の主力構成団体として益々高い評価を得ており、今や西南学院グリークラブのOBの合唱団を超えて、福岡市民の皆様に愛される、福岡を代表する一般の男声合唱団として広く認知されています事を心から誇りに思っております。

今後とも、会場の皆様方と一緒に齢を重ねて参りますシャントゥールを温かく見守って下さりますよう切にお願い申しあげます。御支援宜しくお願ひ致します。

本日のご来場誠に有難うございます。感謝申し上げます。

[I 部]

I. S. C. Foster's Album

- The Old Folks At Home
- Oh! Susanna
- Uncle Ned
- Nelly Bly
- Hard Times, Come Again No More
- Nelly Was A Lady
- Gwine To Run All Night
- Beautiful Dreamer

作詩・作曲／C. S. Foster
編曲／石丸 寛
指揮／馬頭経明
ピアノ／水崎奈々

II. 《男声合唱組曲》『山に祈る』

- 山の歌
- リュック・サックの歌
- 山小屋の歌
- 山を憶う
- 吹雪の歌
- お母さん ごめんなさい

構成・作詞・作曲／清水 健
指揮／徳永和彦
ピアノ／藤野陽子
朗読／納富昌子

—— 休憩（15分） ——

[II 部]

III. 九州の唄・沖縄の唄

指揮／馬頭経明
ピアノ／水崎奈々
三絃／杵屋宣重

- 博多子守唄（福岡県）
- 長崎ぶらぶら節（長崎県）
- だんじゅかりゆし（沖縄県）
- 芭蕉布（沖縄県）
- 黒田節（福岡県）

編曲／馬頭徹夫
編曲／馬頭徹夫
編曲／磯部 偲
編曲／大田 哲
編曲／多田武彦

IV. Yultide Favorites クリスマス曲集（OB参加）

指揮／徳永和彦
ピアノ／水崎奈々

- O Come, All Ye Faithful
- Christmas Medly
- O Tannenbaum
- White Christmas
- I Saw Mommy Kissing Santa Claus
- Jingle Bells

編曲／内海敬三
ピアノ・アレンジ／中村寛子
編曲／David Len Allen
編曲／A. Parker & R.Shaw
編曲／内海敬三
ピアノ・アレンジ／中村寛子
編曲／内海敬三
ピアノ・アレンジ／中村寛子
編曲／Ozzie Westley

今年の演奏会は西南シャントゥール（西南グリー）にとって懐かしいプログラムにしました。学生時代に歌ったもの、シャントゥール結成時に歌った曲等々、みなさまのお耳に残っている作品もあることでしょう、今年は出来るだけ解りやすい作品を選んでみました。
昨年の創立50周年記念演奏会とはまた少し違ったコンサートをお楽しみいただければ幸いです。

I S. C. Foster's Album

フォスター、石丸さん、そして西南グリー

昭和30年代、当時の合唱界はコンクール全盛時代で、西南グリーは5月の定期演奏会と秋の合唱コンクールが年間2大イベントでした。

その合唱コンクールでは、手前ミソながら西南グリーは西部地区（九州、山口）では“常勝西南グリー”で「負けを知らない」合唱団でした。ところがどうしたことか昭和31年の西部合唱コンクールで“山口大学メンネルコール”に優勝をさらわれました。そのショックは大きく純粋な少年（青年）達は別府の地でくやし涙をながしました。

この事をきっかけに西南グリーは伝統を守るべく、戦後の西南グリーの育ての親、石丸寛さんに再び指導を仰ぎ、翌32年の定期演奏会は石丸さんにすべてをお願いしようという事となり、その演奏会のプログラムの中心となったのが「フォスター・アルバム」でした。演奏会をきっかけに再び“常勝西南グリー”を復活させるため、その年のコンクールの自由曲を石丸さんに選曲していただき、見事、西部地区で優勝しました。

「フォスター」と西南グリーはそれ以前、昭和20年代にも石丸さんの指揮と編曲によって演奏されており、本日の編曲は昭和20年代の編曲をもとに再編曲されたものを演奏致します。

スティーブン・コリンズ・フォスター (Stephen Collins Foster : 1826～1864)

「フォスター」は世界中でもっとも多くの人々に歌われる歌を創ったと言われています。日本でも音楽の教科書をはじめ多くの人々や音楽家、合唱団等に歌われてきました。

アメリカは独立宣言以降、領土拡大をめざして西部開拓を進めていました。その開拓はミシシッピ川に沿った中央平原を中心にはすめられました。フォスターの歌は、西部開拓時代に生まれ苦しい開拓生活の中、誰もが歌えるフォスターの歌は多くの人々に歌われ、人々の心を癒すものだったと言われています。フォスターはまた、白人が顔を黒く塗り黒人のかっこうをして演じる芝居「ミンストレルショー」のために多くの歌曲を書きました。そこから生まれた歌曲の中には現在も歌われているものが数多くあります。

本日は、その抒情味ある美しいメロディーの中からよく歌われている曲を8曲、石丸さんのおしゃれなセンス溢れるアレンジでメドレーでお届けいたします。

The Old Folks At Home (Swanee River) 1851

“スワニー河”で親しまれる代表的なフォスターの歌。遠く離れた故郷を懐かしむ美しい詞、そして流れるようなメロディーは聴く人、歌う人の心をうちます。スワニー河はジョージア州からフロリダ州を通りメキシコ湾に注いでいます。この曲は、現在、フロリダ州歌になっています。

Oh! Susanna 1848

フォスターの作品の中で広く愛唱されている最初の大ヒット曲となり、1848年～9年のカリフォルニアのゴールド・ラッシュの賛歌となり、愛唱され、またたく間に広まつたが、作曲者のフォスターの名はあまり知られていないと言われています。

アラバマのパンジー弾きがルイジアナへ、恋人スザンナを探しに出掛ける途中で「旅は辛いけど、泣くんじゃない、夢のなかにいくたびか見たスザンナにルイジアナへ着けば、きっと会える」と歌っている“ラブソング”です。

Uncle Ned (Old Uncle Ned) 1848

フォスターは「アーサー王」をめぐる「円卓の騎士達」をもじったグループ名の男声コーラスグループ「角卓の騎士達<Knights of the S.T.>」をつくり、毎週2回、フォスターの家に集まって当時流行していた曲を歌ったり、街へ出てお屋敷の下でセレナードを彈くなどの活動を行っていました。このグループで歌っていた曲の中にはフォスターの自作した曲も多く含まれており、この曲もこの「角卓の騎士達」で歌うために作曲された。このグループには彼の兄であるモリソン<Morison>、そして大親友のチャールズ・シラス<Charles Shira>も参加していました。フォスターのエチオピア旋律で書かれた曲。

Nelly Bly 1850

数多く歌われているフォスターの作品の中でも、広く歌われているポピュラーな名曲でしょう。明るい調子で情感豊かに歌われ、心も弾む楽しく親しみ深い作品です。

Hard Times, Come Again No More 1854

フォスターの作品の中で世の中の流れや、時代を反映した歌は少ないので、メキシコ戦争や南北戦争の渦中に書かれたいくつかの作品の中でも代表的なものの一つです。

Nelly Was A Lady 1849

1849年に出版された曲集『フォスターのミンストレル・ソング集 Foster's Ethiopian Melodies』に収録されており、「クリスティ・ミンストレルズ」によってヒットした。この曲は亡くなった最愛の人への哀歌であり、また白人の作曲家が黒人の男女を愛しあう夫婦として描き、黒人の女性を“Lady”と呼ぶように主張した最初の曲であり、フォスターのエチオピア旋律で書かれた最初の曲でもある。

Gwine To Run All Night (Camptown Races) 1850

「草競馬」として知られているこの曲は、ミンストレルショーのために書き下ろしたもので、ニゲロ的な影響を受けており、フォスターの耕地の旋律の第三作目の曲です。歌詞中の Doo-dah! は黒人独特のかけ声です。

Beautiful Dreamer 1862

200曲近い歌謡の作品の中でも、もっとも抒情的な美しさあふれた作品さと言われています。フォスターの最後の作品と伝えられています。

愛する人への想いとあこがれが、哀しみ色の美しいメロディーにのせて歌われます。

(記・指揮者／馬頭経明)

II 《男声合唱組曲》『山に祈る』

「なぜ山に登るのか」

「そこに山があるから」登山家ジョージ・マロリーの有名な言葉。

その短い言葉の中に男臭いロマンを感じる事ができる名言である。

山に果敢に挑み、命を失っていく者が跡を絶たない。ジョージ・マロリーの言葉にあるように登山には、一つの哲学があるからであろうか。その一方で、故人を山に投影させ、冥福を祈る残された遺族がいる。

この曲の解説には、作曲者 清水 梢氏自身が楽譜発行の際に寄せた文章があるので、その一部を紹介する。原曲は男声四重唱と管弦楽のために書かれたもので、初演はダークダックスが歌った。出版にあたり、多人数の合唱団用にピアノ伴奏付で改変された。

(記・指揮者／徳永和彦)

昭和34年秋、長野県警察本部では、山での遭難の頻発に業を以て、遭難者の遺族たちの手記を集めた「山に祈る」という小冊子を発行して、遭難防止をうたつえた。ダーク・ダックスは、その巻頭に載った、上智大学山岳部の飯塚揚一君の遭難を、同君の残した日誌と同君の母親の手記によって、一篇の合唱組曲につくる企画をたて、私はその構成、作詞、作曲を依頼された。

この曲をつくるに当って、私は前記「山に祈る」の小冊子を中心に、春日俊吉氏の「山岳遭難記」、上智大学山岳部誌「モルゲンロート」「マウンテン・ガイド・ブック」、地図その他を参考したが、特に遭難当時のパーティであった上智大学山岳部の学生諸君から、じかに当時の模様をきくことができたのは幸であった。それは、雪山登山とその遭難について、できるだけ嘘のないものを書きたいと思ったからである。しかし、これは音楽物語であるために、いくらか誇張されたところもあるし、フィクションもある。また、私自身の山への思慕も盛った。

内容は前述の通り、一遭難者が書きのこした最後の手記と、わが子をなくした母親の悲しみとを、母親の朗読と歌とで進めたものであるが、曲はできるだけポピュラーなものにしようと努めた。誰もがすぐに口ずさめる平易なメロディーで埋めた。

全体の構成の上で特に言っておきたいのは、母親の朗読で物語の筋を進め、歌はその外側にあって、物語の情景や情緒を表現する役目を果していることである。従って、主人公の元気な姿から死にいたる筋に合わせて、最初の「山の歌」から、最後の「お母さん、ごめんなさい」にいたる六曲の歌は、明るい曲調から次第に暗い曲調へ移ってゆくようにした。

1960年4月 清水 梢
(「カワイ楽譜」より抜粋)

山に祈る

山の歌

- 1 山よ お前の ふところは
山の男のふるさとよ
うれしい時は山へ行く
さびしくなれば尾根歩き
- 2 山よ お前は 優しそう
ピークで呼ぶヤッホーを
忘れずすぐにこだまして
山の仲間と呼びかわす
- 3 山よ お前の あで姿
岩場、草つき、雪渓も
みんなお前の肌の色
抱いてもみたい肌ざわり
- 4 山よ お前は もの言わぬ
けれど代りにぼくたちが
明日はいよいよアタックと
ヒュッテの便りしておこう
- 5 山よ お前が 隠しても
歯をむくようなガレ場なら
それがお前のしづい顔
雪崩が残した爪の跡
- 6 山よ お前の 優しさは
テラスの空の星のように
テントの窓からしのびこむ
小屋の窓から降ってくる
- 7 山よ お前の きびしさは
霧と雨との捲き返し
風と吹雪のうなり声
おそう白魔の大雪崩
- 8 山よ お前よ さようなら
たき火の煙 硝えないで
林をぬけて頂上へ
別れの言葉 告げてくれ
- 9 山よ お前よ いつまでも
ぼくはお前を忘れない
お前もぼくを忘れずに
お前もぼくを忘れずに

リュック・サックの歌

- リュック・サック
- リュック・サック
- 肩に食い込む重さでも
山の友だと思えば軽い
- 背中にずっしりかからばかかれ
踏みしめ登る急坂も
リュックがあれば気がはずむ
- リュック・サック
- リュック・サック
- 中味は何だときかれてても
數え切れないこの重装備
- 背中にずっしりかからばかかれ
あの山この山 なつかしい
- リュックにつめたい思い出よ

山小屋の夜

- 満天の星
- 凍る夜氣
- 山々はくろぐろと
雪に埋もれた小屋を包む
- カンテラの鈍い光
- リュックを枕に、重い足を
長々と伸ばして眼をつむれば
- あれも これも まぶたの奥に
まぶたの奥に
揺れるよう映る。
- 明日も晴れてくれ。

山を憶う

- なぜ 山を憶うのか
山は神秘だから。
- なぜ 山を慕うのか
山は優しいから。
- なぜ 山に挑むのか
山はきびしいから。
- 怒れば巨人となつて
人間の智慧を打ち挫き
ほほえめば乙女となつて
汚れない愛を降りそぞぐ
- なぜ 山へ登るのか
山がそこにあるから

吹雪の歌

- 吹雪
- 吹雪
- 吹雪
- 引き裂き うなり
- 噛み挫き のたうつ
- 白い悪魔の雄たけび
- 白い巨人の咆哮。
- 吹雪
- 吹雪
- 吹雪
- 逆まき 狂い
- 圧しつぶし 噴き上げる
- 白い悪魔のかちどき
- 白い巨人の怒号。

吹雪

- お母さん、ごめんなさい
- お母さん ごめんなさい
- やさしいお母さん
- ごめんなさい
- ゆたか、やすし、
- 順子よ、すまぬ。
- お母さんをたのむ。
- お母さん ごめんなさい
- やさしいお母さん
- ごめんなさい
- さきに死ぬのを
- 許して下さい。

お母さん、ごめんなさい

Ⅲ 九州の唄・沖縄の唄

西南シャントールは、今年11月、世界に向かって活動している“沖縄男声合唱団”に招かれ初の“海外演奏旅行・交歓演奏会”を行いました。

お互いに地元の「唄」と得意のレパートリーを披露したこのコンサートは大変楽しく、有意義なコンサートでありました。

このコンサートを記念して「博多の唄」を中心とした九州の唄と沖縄男声合唱団のレパートリーから2曲をプログラムに選びました。皆様よくご存知の民謡ですが、男声合唱になると一味違った雰囲気も出ると思います。お楽しみいただければ幸いです。

博多子守唄

古くから唄われている博多の唄の中でも代表的なのが「博多子守唄」ではないでしょうか。「うちの御寮さんな、がらがら柿よ……」この博多人侮辱の作詞をしたのは熊本出身の三隅忠雄氏だそうです。「ごりょんさん」とは博多の商家の奥様で、主人以上に使用人から慕われ信頼され、太っ腹でときには男まさりの度胸のよさ、それでいて主人をたて、でしゃばらず、ユーモアたっぷりな博多女こそ「ごりょんさん」なのです。この歌は子守女の主人へのウップンとアテコスリを主題にしていますが、子守女は御寮さんを理想の人として、“いつかあのようになりたい”と奉公していたという事です。

長崎ぶらぶら節

映画「長崎ぶらぶら節」で全国的に知られることとなった「ぶらぶら節」は、嘉永年間から明治の初め頃まで、長崎で盛んに歌われていた流行歌です。その後廃れて歌われる事は無かったようですが、丸山遊廓の名妓“愛八”と古賀十二郎が長崎の歌を発掘している時探し出しました。そして昭和5年、日本の民謡を発掘していた西条八十は、「長崎ぶらぶら節」を聴きレコード化し、それを契機に再び歌われるようになりました。現在では長崎を代表する歌として親しまれ「おくんち」には欠かせないものとなっています。長崎の風俗や名物、時事を織り込んだ内容は、歴史的な出来事から、色事、庶民の生活まで含まれるまさに長崎っ子の歌と言えるでしょう。

だんじゅ嘉利吉

沖縄ではめでたい歌として現在も祝いの席でよく歌われている歌です。

昔、長旅に出発するとき、その家族が航海の安全を祈って歌ったものと言われています。沖縄では王府の命により遠く日本本土や中国に旅をするとき、その家族は親戚や親しい者達を集めて航海の安全を祈りました。

“吉日を選んで船出をするが、自然まかせの航海であることを知れぬ命。航海の無事を祈る切実な願い”であった沖縄を代表する歌です。

芭蕉布

芭蕉布は、数多い沖縄の織物の中でも最も古い織物です。

13世紀頃にはすでに織られていたと考えられています。人々の生活の中で欠かせない衣服として、糸芭蕉を植え、糸を積み沖縄各地で芭蕉布は織られていました。現在は衣生活様式の変化による需要の減退と、技術伝承者の減少によって、大宜味の喜如嘉が主な産地になっています。一方で代表的な歌と言われる「芭蕉布」は1960年代の大ヒット曲。1965年に“クカラ新川”によって初録音、NHKの名曲アルバムに取り上げられて以来歌い継がれています。沖縄の「青い海。青い空。首里の古城。石だたみ。緑葉の下。」と眩しいばかりの南国沖縄の風情を歌ったこの歌は、今も絶大な支持を得ていろんなジャンルの歌手により歌われています。

黒田節

博多、福岡を代表する「黒田節」を“今さら”ながら少しばかり説明させていただきます。歌のモデルになっているのは、「母里太兵衛」という武士と「日本号」という槍にまつわるお話です。時の天皇から豊臣秀吉に与えられた一本の剣。秀吉は剣は腰にぶら下げるから恐れ多いとあってこの剣を槍になおしました。「日本号の槍」この槍を秀吉は小田原攻めで功績のあった“福島正則”に間違えてやってしまいました。福島正則は黒田家の家来“母里太兵衛”と飲み比べをして槍をとられる、母里太兵衛は朝鮮出兵の際に助けられた後藤又兵衛にこの槍を取られてしまう。後藤又兵衛は黒田家を出て大阪城に馳せ参じる時にこの槍を置いて行き、現在「福岡博物館」に残っています。「黒田節」はこの一本の槍にまつわる数奇な運命の物語です。

(記・指揮者／馬頭経明)

博多子守唄 福岡県民謡

- 1、うちの御寮さんな がらがら柿よ
見かきや良けりや 浪ござる ヨーイヨイ
- 2、御寮よく聞け 旦那も聞けよ
守に悪すりや 子にある ヨーイヨイ
- 3、うちのお父つあんな 位がござる
何の位か 酒喰らい ヨーイヨイ
- 4、博多 柳町 柳はないが
女郎の姿が 柳腰 ヨーイヨイ
- 5、ねんね しなされ お休みなされ
明けりや 御殿の鐘が鳴る ヨーイヨイ

*御寮さん→大商家の奥様
*がらがら柿→小粒できれいだが渋い柿
*柳町→今の石城町付近にあった遊廓

長崎ぶらぶら節 長崎県民謡

- 1、長崎名物 紙鳶揚げ盆まつり
秋はお諫訪のシャギリで 氏子がぶらぶら
ぶらり、ぶらりと言ふたもんだいちゅう
- 2、遊びに行くなら 花月か中の茶屋
梅園裏門たいて 丸山ぶらぶら
ぶらり、ぶらりと言ふたもんだいちゅう
- 3、紙鳶揚げするなら 金比羅風頭
帰りは一杯機嫌で 瓢箪ぶらぶら
ぶらり、ぶらりと言ふたもんだいちゅう
- 4、今年や十三月 肥前さんの番代わり
城が島の見物がてらに オロシャがぶらぶら
ぶらり、ぶらりと言ふたもんだいちゅう

*紙鳶→鳳のこと。長崎独特の鳳揚げで有名。
*十三月→旧暦の閏月。
*肥前さんの番代わり→当番制による長崎警備の事で、
黒田藩と鍋島藩が交互にその任についていた。

だんじゅ嘉利吉 沖縄民謡

だんじゅかりゆしや
いらでさみせる
船(フニ)ぬ 綱(チナ)取りば
風(カジ)やまとうむ
サーサー かりゆし
「今日この良き日、選んで遣わされ、
船の網(舵)取ると、風も追い風、
サーサー目出度い」

ハリヨ フニヨー ユーハイセー
ナーンチャ ユイハイセー
ササ ユイハイセー
「走れ、船よ、よく走れ、
なるほどよく走る、
それよく走れ」

芭蕉布 作詞・吉川安一 作曲・普久原恒勇

- 1、海の青さに 空の青
南の風に 緑葉の
芭蕉は情けに 手を招く
常夏の國 我した島 沖縄(ウチナー)
- 2、首里の古城の 石だたみ
昔を偲ぶ かたほとり
実れる芭蕉 熟れていた
緑葉の下 我した島 沖縄
- 3、今は昔の 首里天ぢやなし
唐フゥーツむぎ はたを織り
上納ささげた 芭蕉布
浅地紺地の 我した島 沖縄

*我した島 沖縄→私達の島 沖縄
*首里天ぢやなし→首里の王様
*唐フゥー→唐の布・織物

IV Yultide Favorites クリスマス曲集 (クリスマスの季節のお気に入り曲集)

今年もクリスマスの季節を迎えました。街のいたるところにクリスマスのイルミネーションが輝きクリスマスソングがながれ、街行く人の心を弾ませます。

キリスト教会では教会暦で「アドベント(待降節)」の期間(11月30日に最も近い日曜日からクリスマスまでの4週間)になります。アドベントはキリストの誕生、すなわち神のみ子『主イエス』の来臨を待つ心を表しています。教会ではツリーを飾り、クリスマス・クランツの上に4本の蠟燭を立て一週間毎に蠟燭の灯をともし、主イエスが来られるのを待ち、降誕を迎え、お祝いします。

今夜は、クリスマスの季節のお気に入り曲集として教会で歌われる「カロル」、カロルと贊美歌を題材とした「クリスマス・メドレー」そして、おなじみの楽しいクリスマスソングをお楽しみください。

曲目中、内海敬三氏の編曲はアカペラで作られており、過去歌った曲ですが、今回、氏の了解を得て、以前私達の伴奏をしていただいた、ピアニスト・オルガニストの中村寛子さんにピアノ・アレンジをお願いし趣を変えて演奏いたします。併せてお楽しみください。

O Come, All Ye Faithful (神の御子は)

ラテン語の古い歌で、17世紀ごろからドイツ、フランスのカトリック教会で歌われ、クリスマスの深夜ミサに先立って行われる聖職者の行列で歌われていたと言われている。それにイギリスの音楽家ジョン・フランシス・ウエイドがメロディーをつけたと伝えられている。

Christmas Medley (クリスマス・メドレー)

アーレン・ダヴィット・レンによる編曲で、キリスト生誕の「待誕節」「降誕」を賛美した古いカロルや聖歌を、ソロを巧みに使いながら組み合わせ（メシヤの降臨を待望し、粗末な納屋で乙女マリヤより生まれたイエス、羊飼い達に大きな歓びを告げた神のみ使い天子、輝く星に導かれて東方からやってきた3人の博士…）物語として構成しキリスト降誕を賛美する曲として構成された作品。

【曲目】主題に、讃美歌94番「久しく待ちにし」“Veni, Veni, Emmanuel”

次に讃美歌第二編128番「よの人わするるな」“God Rest Ye Merry Gentlemen”

中間部に「ヒイラギ飾ろう」「Deck The Hall”

最後に讃美歌98番「天(あめ)にはさかえ」“Hark! The Herald Angels Sing”

O Tannenbaum (もみの木)

Tannenbaumとはクリスマス・ツリーに使われる「もみ木」のこと、ドイツの古いキャラクターで18世紀頃から歌われていたと言われており、この曲を初めて英国に紹介したのがビクトリア女王の夫君でドイツ人のアルバート公だったとの説がある。

White Christmas (ホワイト・クリスマス)

K. Utsumi

アーヴィング・バーリング作詞作曲、1942年のアメリカ映画「スイング・ホテル」の中で今は亡きビング・クロスピーが歌った曲で、子どもの頃のクリスマスを思い出して歌う、とても美しいこの曲はクリスマスには欠かせない歌になった。

I Saw Mommy Kissing Santa Claus (ママがサンタにキッスした)

1952年トニー・コナー作詞作曲。当時13歳だったジミー・ボイドが歌って大ヒット、ヒットチャートの一位を獲得した。

Jingle Bells (ジングル・ベル)

1850年頃、ジェームス・ピアポン特作詞・作曲。彼の住む町のストリートで行われる「そり競争」のために作られた曲で、その後、ある日曜学校の子供達がクリスマス会を計画していたとき、楽しい歌を知らないかとピアポンの兄弟から尋ねられ、そり遊びの歌を思い出し渡した。子供達はその歌を大変気に入り、クリスマス会は大成功に終わり、その後この曲は大ヒットし、クリスマスには欠かせない定番ソングとなった。

(記・指揮者／徳永和彦)

Christmas Medley

Rejoice! Emmanuel shall come to thee, O Israel.

喜び祝え！救い主はやがて汝に来るらし、イスラエルよ

While shepherds watched their flocks
by night all seated on the ground,
An angel of the lord came down and glory shone around.
"Fear not," said he,
from mighty dread had seized their troubled mind :
"Glad tidings of great joy I bring to you and all man-kind.
To you in David's town this day is born of David's line
A savior, who is Christ the Lord ;
And this shall be the sign :
The heav'ly Babe you there
shall find to human view displayed,
All meanly wrapped in swathing bands
and in a manger laid."

羊飼いはみな地に座し、
夜毎群れを見守りしき
主の御使い來たりて、栄光迺りを照らしたり。
「怖るるな」御使いは言つた、
強い怖れが民の悩める心を捉えていたので：
「大いなる喜びの報せをお前たち全ての人々に持ってきた。
ダビデの町のお前たちのところに今日ダビデの血筋を引く
救い主が生まれた、主なるキリストなり。；
これこそ徵(しるし)：
お前たちが見る天の嬰兒は
人の姿で、
みすばらしい布に包まれて
飼葉桶に寝かされている。」

God rest ye merry gentlemen,
let nothing you dismay,
for Jesus Christ our savior
was born upon this day,
to save us all from satan's power
when we were gone astray ;
O tidings of comfort and joy,

神は心清く正しき者に休息を与えられる、
驚かせるようなことはなさらない、
われらが救い主、イエス・キリストが
この日にお生まれになったのだから、
われらが迷ってしまったとき
サタンの力から我々みんなを救い出すために；
おお、安らぎと喜びの報せよ、

Hark! the herald angels sing "Glory to the new-born King."
Peace on earth and mercy mild, God and sinners reconciled.
Joyful all ye nations rise! Join the triumph of the skies!
With angelic hosts proclaim, "Christ is born in Bethlehem."
Hark! the herald angels sing "Glory to the new-born King."

聞け！先触れの天使が歌う「いま生まれた王に栄光あれ」と。
地には平和と寛大な慈悲くだり、神は罪びとを許し賜うた。
喜びて起て諸々の国人たちよ！天国の勝利に参加せよ！
「キリストがベツレヘムに生まれた」と天使が宣言したとき。
聞け！先触れの天使が歌う「いま生まれた王に栄光あれ」と。

Rejoice! Emmanuel has come to thee, O Israel.

喜び祝えよ！救い主は汝らへ来たれり。おお イスラエルよ。
(翻訳：鈴木 勲)

**指揮／馬頭経明** (はとう のりあき)

1959年、西南学院大学商学部卒業。西南学院高校、大学を通じグリークラブに在籍、在学中 学生指揮者として活動。1954年西南シャントゥール設立時 高校3年生で参加、西南シャントゥール副指揮者を経て2002年より指揮者。
1996年～2002年オホーツク国際音楽セミナー・小林研一郎指揮法講座に参加。
指揮を高石 治、松岡 究、小林研一郎の各氏に師事、和声を故 竹内 剛氏に師事。
現在 福岡音楽文化協会に勤務。

**指揮／徳永和彦** (とくなが かずひこ)

(株)福岡銀行・福岡コンピューターサービス(株)・(財)福岡県中小企業振興センターに奉職。
福岡高校・西南学院を通して学生指揮者を務め、西南シャントゥール副指揮者を経て現在にいたる。

**ピアノ／水崎奈々** (さかい なな)

福岡出身。5才よりピアノを始める。田村理恵子、鈴木洋両氏に師事。
福岡女学院高等学校音楽科卒業後、ドイツ・エッセン国立芸術大学に留学し、
Prof. Till Engel、Thomas Günter に師事。
2000年卒業後、帰国。現在福岡にて活動中。
ミュージックステーション福岡講師。

**ピアノ／藤野陽子** (ふじの ようこ)

福岡女学院高等学校音楽科卒業。桐朋学園大学音楽部卒業。第42回西日本新人演奏会で審査員奨励賞受賞。現在、福岡音楽学院非常勤講師、フラウエンコール南・NHK福岡児童合唱団MIRAIのピアニストとしても活動している。高島真子、末永博子、安井耕一、奈良湯恒美の各氏に師事。福岡室内楽協会会員。

**三絃／杵屋宣重** (きねや のぶしげ)

学生時代に西南学院グリークラブに在籍し、音楽の基礎と楽しさを学ぶ。
卒業後、英語教師として北九州市の中学校に勤務中、三味線と出会い、その音色に魅了され練習に励む。
昭和62年に民謡謡本流の名取を許される。
その後、長唄杵屋禄宣師の門弟となり「杵屋宣重」の名を取得。
三味線グループ「三粹会」を結成し北九州市小倉を中心に活躍中。

**朗読／納富昌子** (のうとみ まさこ)

飯塚市出身。1976年西南学院大学卒業後、RKB毎日入社。アナウンサー訓練を受けた後報道部に配属、記者として福岡市政、県政をまわって現場を踏んだあと、1985年から2000年までRKBニュースワイドのキャスターをつとめる。2001年から事業部に異動、文化イベントのプロデューサーとして展覧会などを担当のかたわら毎週日曜深夜のトーク番組「元気 by 福岡」で福岡を往来する文化人などのインタビューを続けている。この間 地元の男女共同参画行政をはじめ環境、人権福祉、文化、大学、道路関係など各種委員を歴任。

西南シャントゥールは1954年（昭和29年）4月、西南学院グリークラブOBの54期の内海敬三氏（前・指揮者）らが中心となり結成された。以来、西南学院卒業者ののみのメンバーで構成されており、西南OBの結束の堅さを継続している。シャントゥール〔Chanteurs〕という名称は、当時のアメリカ海軍の男声合唱団名の“*The Sea Chanters*”とフランスの男声合唱団名 “*Companion de la Chanson*”を参考にし、結局フランス風に洒落て西南シャントゥール〔Seinan Chanteurs〕と命名された。

結成された当時は主に全日本合唱コンクールへの出場を目指し、3位入賞などの実績を残している。現在では、専ら年に一度の「定期演奏会」を活動の中心に置き、同時に又各地の合唱団とのジョイントコンサートやゲスト出演活動を続けている。現在全国的にみても、毎年定演を持つ貴重な一般男声合唱団として高く評価されている。

又、定期演奏会においては、委嘱作品の初演にも力を注ぎ注目をあびている。

多田武彦作曲：男声合唱組曲「柳河風俗詩・第二」・「三崎のうた・第二」

吉田悠作編曲：日本の歌による男声合唱のためのメドレー「海へ山へ」・

男声合唱とハープのための「アイルランド民謡」

宇野正寛編曲：男声合唱曲「日本の歌メドレー」

昨年、創立50周年記念演奏会において大島ミチル作曲：男声合唱とピアノによる『生命の誕生』を初演した。また本年も、大島ミチル師へ「悲しい歌は嫌いですか」(NHK金曜時代劇「御宿かわせみ」主題歌)を男声合唱編曲を委嘱した。

(社)全日本合唱連盟・福岡県合唱連盟・福岡音楽団体連絡会 会員

《1年間の演奏活動》

2004年12月11日〔アクロス福岡〕●西南シャントゥール創立50周年記念定期演奏会

12月23日〔アクロス福岡〕●〔福岡女学院創立118周年記念〕クリスマスコンサート“メサイア”(有志出演)

2005年04月07日〔ランキンチャペル〕●西南学院グリークラブ現役サポート・オリエンテーションステージ

06月13日〔大牟田文化会館〕●第60回福岡県合唱連盟福岡支部合唱祭

09月25日〔北九州市八幡西区〕●聖ヨゼフの園老人ホーム・ボランティアステージ

10月16日〔アクロス福岡〕●「2005・出会いと夢」福岡マンドリンオーケストラ第40回定期演奏会(有志参加)

11月12日〔那覇市民会館〕●沖縄男声合唱団演奏会ジョイントステージ

11月26日〔博多ルート教会〕●スインギングクリスマス

11月28日〔ランキンチャペル〕●ランキンチャペル改修工事にともなう礼拝サービス

12月11日〔アクロス福岡〕●2005西南シャントゥール定期演奏会



出 演 者

西南シャントゥール

1st Tenor	2nd Tenor	Baritone	Bass
乙藤 成美	的野 耕一	林 照樹	鶴原 太郎
宮地 基次	福井 勲	本永 哲也	下川 勝史
高木 正志	大石 宏	中辻 浩一	木道 昇
中尾 武史	馬頭 経明	和田 正義	田中 義信
日高 良公	野辺 和馬	鈴木 勸	鶴 喜広
飛松 智明	波多江 忠	粟野 寿泰	松枝 保匡
山元 一憲	徳永 和彦	石川 和義	平田大三郎
倉地 進	黒江 量二	吉開 紘幸	阪井 俊文
坂部 雅夫	石橋 一幸	古賀 正義	蓮尾 勝右
大司 真	石松 茂	松尾 淳郎	毛利 正明
山口 聰	窪田 敏博	佐藤 棟也	波多野勝彦
	井上 貴喜 06	里中 健	夏秋 毅昭
		小西 真二	武藤 新
		中嶋 恒生	森 博彦
			八尋 憲二
			角 正信
			中垣 登
			宮地 純

西南学院グリークラブOB参加メンバー

1st Tenor	2nd Tenor	Baritone	Bass
船越 修策 56	徳永 弘道 57	内海 敬三 54	井形 宣英 55
西山 繁政 62	古賀 弘史 58	高嶋 裕二 76	藤村 文彬 63
河野 正海 63	大平 春海 59		
	岸川 均 61		
	高宮 重行 62		
	矢野 達彦 63		
	下田 昭 64		

(*名前の後の数字は卒業年度)

早いもので昨年の50周年記念演奏会から一年がすぎました。50周年終了後、先代マネージャーより交代が要請され、今まで暗中模索の中を毎日突き進んできた。企画・涉外すべての点で、諸先輩のアドバイスと鞭撻また的確なる資料に助けられ本日が迎えられました。クラブの歴史の重さに緊張する思いだ。60周年に向かって日々精進。皆さん頑張りましょう！

マネージャー：窪田敏博

Chinatown Variety

美味しい情報が満載！

<http://www.fuxinlou.jp>

創 祖 明 治 37 年
中国
新 樓

NEW TERRITORY
EXPERIENCE 新界

China Café



〒810-0001
福岡市中央区天神 2-3-33
TEL 0120-2946-01

きどう動物病院

KIDOU SMALL ANIMAL HOSPITAL

獣医師 木道 寛・木道浩子



福岡市城南区島丘5-4-18
TEL 092-862-1222

不動産のことならなんでもご相談下さい。

誠心誠意でお手伝いさせて頂きます。

福岡県知事(2)第14016号

中垣不動産

〒818-0121 太宰府市青山3丁目27-2

TEL 092-918-6487

FAX 092-918-6488

<http://www.nakagaki-fudousan.com>

株式会社 山本文房堂

●本店／福岡市中央区大名2丁目4-32 〒810-0041 ☎092(751) 4342

●すみぢか店／中央区天神2丁目住生福岡ビル地階 〒810-0001 ☎092(721) 0163

●アートスクール／中央区天神2丁目住生福岡ビル地階 〒810-0001 ☎092(721) 0163

*通信販売を承ります。お気軽におたずねください。

URL <http://www.yamabum.com> E-mail yamabum@anet.ne.jp

キャラット・懷石2dishは、4バラエティ。

名だたる特産品をふんだんに使用して、愛猫の舌とからだをおもてなし

- 2つの贅沢素材をおいしくトッピング、さらに1箱で2つのおいしさ
- いつも開けたてのおいしさ（脱酸素剤入り／風味を逃がさない小分けパック）
- 健康のための細かい配慮（PUSに配慮／おなかにやさしいマイクログラインド製法）



ペットの元気と長生きのために。

発売元 日清ペットフード株式会社

お客様相談室 ☎ 0120-22-1124

<http://www.nisshin-pet.co.jp/>

毎日おねだりのグルメフード

1粒1粒に贅沢な素材のおいしさをギュッと閉じ込め、上質なかつおぶしで仕上げました。

unicharm
ユニ・チャーム ペットケア



【お魚づき】



【お魚・お肉・野菜入り】



【7歳以上用】



【毛玉ケア】

●〒141-0031 東京都品川区西五反田7-20-9 FSDビル5F ユニ・チャームペットケア(株) ●お問い合わせ先フリーダイヤル 0120-810-539 ユニ・チャームペットケア株式会社お客様相談室 <http://www.ue-petcare.co.jp>



MORIMITSU
Grain & Pet Care Communication

株式会社森光商店

〒841-8611 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜9-7

PHONE. 0942-85-1125(代) FAX.0942-82-9780

●プログラム：表紙デザイン/田中義信 広告/的野恭一・木道 昇・平田大三郎・中垣 登

悲しい歌はきらいですか

阿久 悠：作詞

大島ミチル：作曲

ゆるやかな水の流れに おもいでを重ねて
抱きしめる胸の熱さを あのひとは知らない

ぐるぐると渦を描いて もてあそぶ花びら
かき消えて ときに 現われ そしてまた 流れる

ああ たそがれに ああ お似合いの
悲しい歌はきらいですか 歌っちゃいけませんか

しあわせと背中合わせに ふしあわせひそんで
いたずらをいつも仕掛ける あのひととわたしに

泣いた日の次の朝には 笑わせて下さい
それだけでたぶんわたしは ご機嫌になるでしょう

ああ 夜もふけて ああ 胸ゆする
悲しい歌はきらいですか 歌っちゃいけませんか

ああ たそがれに ああ お似合いの
悲しい歌はきらいですか 歌っちゃいけませんか

見上げてごらん夜の星を

青島 幸男：作詞

中村 八大：作曲

見上げてごらん夜の星を 小さな星の 小さな光が
ささやかな幸せをうたってる

見上げてごらん夜の星を ポクらのように名もない星が
ささやかな幸せを祈ってる

手をつなごうボクと おかげよう夢を
二人なら 苦しくなんかないさ



SINCE 1954 TO 2005